

心

の悩みエトセトラ

第45話


 精神科医
瀬戸 睿

大坂なおみの勝利は劇的であった。

9月13日(日)の朝5時過ぎから全米オープン決勝があった。第1セットのアザレンカの強さはすさまじかった。あの大坂の強打を苦も無く打ち返し6-1と圧倒、あまりの強さにこれは負けだなと直感。大坂もげんなりしているだろうと思って、チェンジコートの表情、態度を見たが、いつもの表情だった。けちゃんけちよんにやられたのに、落ち込んでいない。どうして平気な顔でいられるのだろうと思いつながら、第2セットに見入った。

始めはやはりアザレン

カの強さが目立っていた。しかし、1-1からアザレンカのファーストサーブが入らなくなり、大坂のリターンが入り始めた。ファーストの時と違い、強打せずスピンを効かせたゆるく深いボールで返球、それをアザレンカが強打するも深くてスピンの効いたゆるいボールはミスしやすくなり、大坂がキープする。あれれ！と思ったら何と4-1とリードした。まずいと思ったアザレンカも粘り5-3となり、マッチポイント。長いラリーの後、アザレンカがネットミスをして第2セットを取る。大坂が第3セットを6-3で取り、何とか勝利した。コートに大の字に寝転がり、空をしばらく仰ぐ。

特に大喜びするわけもなく、落ち着いて勝利インタビューを受ける。7通りのマスクについて聞かれると「あなたが受け取ったメッセージは何でしたか？メッセージをあなた方がどのように受け取ったかに興味があります。」と答えている。黒人差別は私の問題ではなく、社会の人達がどう思うかが大事ですよといったかったのか、その通りだと思った。

翌日にはツイッターを更新し「先祖に感謝したいと思う。彼らの血が私の血管を巡っていると思いだすたびに、私は負けられないと気づけた。」と黒人の血への誇りを訴えた。この言葉も素晴らしい。白人は黒人より優れているという差別が常態化している米国社会、白人至上主義への痛烈な反論であった。これで次の試合も楽しみになった。

「大坂なおみが全米オープンで優勝」



医療法人社団 俊睿会

南埼玉病院

精神科・神経科・心療内科・デイケア

越谷市増森 252 URL <http://www.minamisaitama.com>

☎048-965-1151